Rotary District 2620　持続可能なインパクトを生み出そう
CREATE LASTING IMPACT
2026-27 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
オライカ・ハキーム・ババロラ氏

Weekly Bulletin
藤枝南ロータリークラブ　会報

例　会：毎週金曜日
会　場：小杉苑　藤枝市青木 2-35-30
ＴＥＬ：054-641-3321
事務局：藤枝商工会議所内
ＴＥＬ：054-646-3919　ＦＡＸ：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2026-27 年度
会長：桑原　茂　副会長：望月　誠　幹事：杉浦　聡　副幹事：杉山茂範

例　会　第１６４７回　通常例会/小杉苑
ソング：君が代、奉仕の理想　ソングリーダー：小嶋英公君

会 長 挨 拶　桑原 茂君



皆様、こんにちは・・
もう９月に入りました・・早いものです、先ほど今月の理事会も無事に協議審議が終わりました・・初理事のメンバーも少しずつ理事会というものを実感してくれていればいいのですが・・・
さて、先月の８月の会長挨拶の中でお話しさせてもらいましたが、今週、二度目の人間ドックにまたまた東京へ行ってきました。
先日は田中圭の話をしましたが、今日は何でそこまでするのか　よく言われるのが、『なんでそんな高い金額を払って、わざわざ東京まで行って人間ドックをするの？』って・・
そこまでしなくてもいいのに・・・って
自分の寿命は寿命として受け入れるから俺は、私は、そんなお金を払ってまで検査しなくてもいい・・なったらなったでしょうがない・・・そういわれる方もたくさんいます・・・
今日は、私はそうじゃなく高いお金を払ってまで、大切な時間を使ってまで、なぜ検査をするのかをお話しさせていただければと思います・・
私は、ご存じの方もいますが３１歳のころ脳幹梗塞で死にかけています。
あの頃は私の三姉妹の娘、長女が３歳、次女が３か月、三女はまだこの世に生まれていませんでした。その時、死に向き合った時に思ったことが『まだ死にたくない・・もっともっと生きたい・・』ただそれだけでした。
あれから２５年以上が経った今ですが、あれから２５年以上も生きることができたのだからもういつ死んでもいいかな・・・と思える自分はまだいません・・・むしろここまで来たらまだまだ生きたい・・まだまだ健康体で生き生きと過ごしたい・・・そんな気持ちが強くなってきました・・・
子供たちの成長をまだまだ見たい・・応援したい・・　孫が見たい・・
自分が死と向き合う、健常者じゃなくなる・・そんなときに何を思うかは人それぞれだとは思いますが、ここだけは経験者に語らせてください・・『人は絶対に生きたい・・元気な体で生きたい』そう思います・・ぽっくり死ねればそれはそれで自分の死を受け入れるでしょう
でも万が一、頭は元気で、手足が動かない、口がきけない・・万が一、健常者ではなく生きるこれからの１０年２０年が、自分に降りかかったら・・後悔しかないと思います
長くなりましたが、私はこれからも健康で長生きしたいから一年に一回、結構なお金を払って身体を調べてもらいます
一日でも長く健康で生きることが私の目標であり、希望だからです
本日もよろしくお願いいたします

出 席 報 告　　中山恵喜君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
48／53　90.56%	46／53　86.79%

（1）欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
〇加藤君〇川口君〇古川君〇望月君〇山田幸君
（1）メークアップ者
小嶋英公君（地区）　鈴木健夫君（地区）
竹田敏和君（地区）　若林秀典君（地区）

食事準備数	食事提供数	残	累計残
50	50	0	6

パーフェクト例会数：😊 😊 😊 😊
欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

スマイルＢＯＸ　　中山恵喜君

・9 月の理事会も無事に終わりました。10 月の地区大会も大詰めです。ここにいるみんなで地区大会を成功させましょう。宜しくお願いします。　桑原茂君
・誕生日プレゼントありがとうございます。満 82 歳になりました。過日のゴルフコンペでは皆さんからお祝いして頂きました。　小林正敏君
・皆出席プレゼントありがとうございました。　松浦正秋君
・100%出席のプレゼントありがとうございました。　山田壽久君
・結婚記念日プレゼントありがとうございます　渡辺哲朗君
・皆勤賞ありがとうございました。飯田敏之君
・結婚記念日のプレゼントをありがとうございます。　渡邊芳隆君
・皆出席の記念品ありがとうございました。今年もがんばります。　竹田敏和君
・妻のプレゼントと皆出席プレゼントありがとうございます。　数野晴紀君
・妻の誕生プレゼントありがとうございます。　中山恵喜君
・結婚記念プレゼントありがとうございます。7 年目となります。皆様について行きます。　佐野博己君
・皆出席、結婚記念日、私の誕生日プレゼントありがとうございます。9/6 で 54 歳になります。久しぶりに南クラブに来れて嬉しいです　小嶋英公君
・先日開催されたゴルフ同好会のコンペ、パーソナルベストで優勝させていただきました。頑張りすぎたのかハンディキャップが大幅に減ってしまい、恐れ多いことに桑原会長と同じハンディキャップになってしまったと聞いています。以降、優勝は夢のまた夢となりますが、賑やかしにまた参加させていただきますので、よろしくお願いします。笠原大輔君
・誕生日プレゼントありがとうございます。還暦がみえてきました。　増田陽子君
・皆出席のプレゼントありがとうございました　小池吉徳君
・いつもありがとうございます。　石橋明大君
・誕生日プレゼントありがとうございます。大変感謝です。　小林利雄君

スマイル累計額　２２１，０００円





■ 会 員 卓 話



飯田敏之君

今年の卓話のお題は、「インパクト」。①子供の頃からの不思議体験、②現在持病となった膀胱回りの病気を高校 2 年の時に予言されていた事、③43 才で入会したロータリークラブで広げた輪、④8 月の腎臓・尿管・膀胱の一部摘出手術のお話をさせて頂きます。



伊藤彰彦君

今回のテーマは「インパクト」を受けた出会いや事象についてとのことでした。インパクトを日本語に訳せば「物理的・心理的な衝撃」や「強い影響・反響」となります。私も先月で遂に 70 歳という大台に乗ってしまいました。そのこと自体が強い心理的衝撃ではあります。自分の歳だけをテーマに 15 分しゃべるのは大変なことですから、70 年間の人生の中で私に強烈な影響を与えてくれた私の伯父について少しお話しさせていただきます。

私の母方の実家を継いだ伯父ですが、すでに 14 年前に 88 歳で他界しています。彼は農家の 5 人兄弟の長男として生まれ、代々続いた農家でしたから家父長制度の申し子のような存在でした。父親（　私からすると祖父）は旧安倍郡大河内村の助役を務めており、農家と言っても私が小学生頃までは従業員が 4・5 名おりの母屋の裏に寄宿舎のような建物がありそこで仕事を手伝わせておりました。以前は、お茶と林業が中心で祖父は猟銃を持って鹿や猪、鷹などを獲ったり、マムシを捕まえては乾燥させて私たち孫はよく飲ませられました。（苦くざらざらした触感だけを記憶しています）

ただ、林業が衰退し初めて、伯父の代になると生計を維持することが大変になったころ、ワサビつくりにのりだしました。多分真富士と呼ばれる山で、スギやヒノキを切り出した後を開墾してワサビ田にしたようで、そのころの苦労話は何度か母を通じて聞かされました。真富士は水がきれいで、夏でも冷たい水が湧き出ていましたからワサビつくりには絶好の地だったかもしれません。しかし台風が来るとその都度せっかく作ったワサビ田が流された様でした。お茶とわさびで生計を立て、お茶の生産者組合の組合長や県のワサビ業組合の組合長などもやっていたようです。

そんな忙しい伯父でしたが、必ず兄弟のところには月 1 回程度は顔を出し様子を見に来てくれていました。よく母は私が勉強嫌いで勉強しないことを嘆くと、伯父からよく怒られました。私にとっては怖い伯父でしたが、私が大学に入ったころから私を個室に呼び、見城という家系のことや、家督を継ぐとはこういうものだという話を聞かされました。また、伯父はいろいろなことに挑戦することが好きで、「こんなこと考えているけど若いお前たちはどう思うか？」という質問を何度も聞いてきました。

そんな中で一番大きく印象に残っているのが、いまは安倍街道の静岡市の中心地から梅ヶ島に向かう途中に「真富士の里」という道の駅がありますが、あれを発案したのも伯父でした。そもそも昭和 50 年代に、綺麗で使いやすいトイレを街道につくりたいとの発想から始まり、県や市へ一人で働きかけをして補助金をもらって当時としては斬新なトイレ休憩の場として完成させました。トイレの利用者が折角寄ってくれるので地元の農産物等の販売所も作りたいと言って今のような形態にしたようです。

ワサビを使った商品も今ではワサビ漬けをはじめとして、三杯酢でつけたものやワサビみそ等商品開発もやっていました。そんなアイディアマンでしたので静岡新聞の「窓辺」という半年くらいの連載記事の依頼を受けたり他の雑誌の執筆もしていました。更に自分の半生をまとめた書籍を自費出版で出しました。

本人はよく「田舎の百姓爺」と口では言っていましたが、アイデアマンで何事にも積極的に取り組むそんな伯父を尊敬していました。本日は久しぶりに伯父を懐かしみお話しさせていただきました。

今週の一言　　松浦正秋君



先月、満６５歳の誕生日を迎えました。前期高齢者の仲間入りです。

春先に、市役所から帯状疱疹ワクチン接種の案内が届きました。６５歳になったら公費負担があるので、予防接種を受けましょうというテレビＣＭを観て、年寄りの仲間入りだと感じ始めていました。また、４０１Ｋの積立も終わりに近づき、更に高齢者になったなと思うようになりました。

誕生月の８月を迎えたところ、市役所からレターパックが届きました。発送元は介護保険の係でした。昔懐かしい三つ折りの紙製の保険証が入っていました。それは、ピンク色の介護保険証でした。それ以外の同封物にも驚かされました。シルバー人材センターの人材登録案内、老人クラブの入会案内、老人介護施設の案内等々、行政の制度上、６５歳は本当に老人なのだと思い知らされました。

確かに３人の息子は結婚し、孫が２人いるので、当然と言えば至極当然のことです。人生の最後のステージを迎えたことに抗うのか、素直に従うのか、様々なことを考える年代になったことは確かです。以前お話した六十の手習いで始めた事をもう少し続けていければと思います。悔いのない限られた大切な時間にするために、今という瞬間を前向きに過ごしていこうと思う日常です。

皆さんも、必ず迎えることですので、今から様々な準備をしておくことが肝要だと思います。年寄りのお節介が始まってしまいました。失礼しました。



米山記念奨学生

フィオティリスウェイさん



昨日は沼津西クラブで卓話をさせていただきました。25分のお時間をいただいていたのですが、緊張して少し焦ってしまい、思っていた以上に早口で話してしまいました。そのため、予定よりかなり早く終わってしまいました。自分としても、もう少し落ち着いて、もっと丁寧にお話しできたらよかったなと感じています。もしまた機会をいただけることがあれば、今回の経験を生かして、もっと聞きやすく、楽しんでいただける卓話ができるように頑張りたいと思います。



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
9/11(金) 第 1687 回	外部卓話	小杉苑
9/18(金) 第 1649 回	移動例会	ゆとりえせとや
10/2(金) 第 1650 回	地区大会直前例会	理事会
10/16(金) 第 1651 回	ガバナー訪問	小杉苑

おめでとうございます！



















（担当/森下傑君）